

# 平成26年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	県民環境部管理局男女参画・県民協働課
------	--------------------


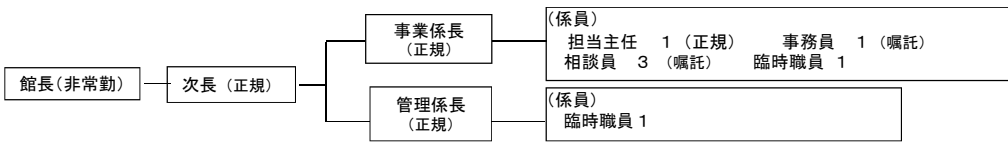
1. 施設名等 平成27年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県男女共同参画センター (昭和62年11月1日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市山越町450番地 089-926-1633 http://www.ehime-joseizaidan.com/
----------------	-------------------------------	-----------------	---

## 2. 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人 えひめ女性財団	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	(5年間)
--------	----------------	------	------------------------	-------

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	女性の社会参加の促進、能力の開発等を通じて男女共同参画の推進を図るため、各種の研修、相談等を行い、及び各種の行事又は集会に必要な施設を提供するとともに、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(平成13年法律第31号)に規定する配偶者暴力相談支援センターとして、各般の問題についての相談、必要な指導及び情報の提供その他の援助を行う。	施設の外観 
施設内容	(1階)多目的ホール、ワーキングルーム、団体連絡室、男女共同参画センター事務室、相談室等 (2階)第1会議室、第2会議室、第3(円卓)会議室、視聴覚室、図書情報資料室等 (3階)レクリエーション室、研修室、和室、茶室、作業室等 (その他)駐車場(乗用車40台)、駐輪場等	
指定管理者が行う業務	多目的ホール(3,200円~19,800円)、研修室(2,100円~13,900円)、視聴覚室(2,300円~7,500円)、第1会議室(1,800円~6,000円)、第2会議室(1,300円~4,300円)、第3(円卓)会議室(1,900円~6,200円)、レクリエーション室(3,600円~11,900円)、和室(2,500円~8,300円)、茶室(900円~3,000円)、作業室(600円~1,900円)、ワーキングルーム(1,500円~4,900円) ※( )内は、午前利用料金~全日利用料金。なお、入場料・参加費等を徴収する場合は、5割増。	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用している <input type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) 消費税等の引き上げに伴う変更	
開館日・開館時間	(開館日)火曜日~日曜日(ただし、次の日を除く。国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日(以下「休日」)、月曜日が休日に当たるときはその翌日、年末年始(12/29~1/3)) (開館時間)午前9時から午後5時(ただし、貸館は午後9時まで)	

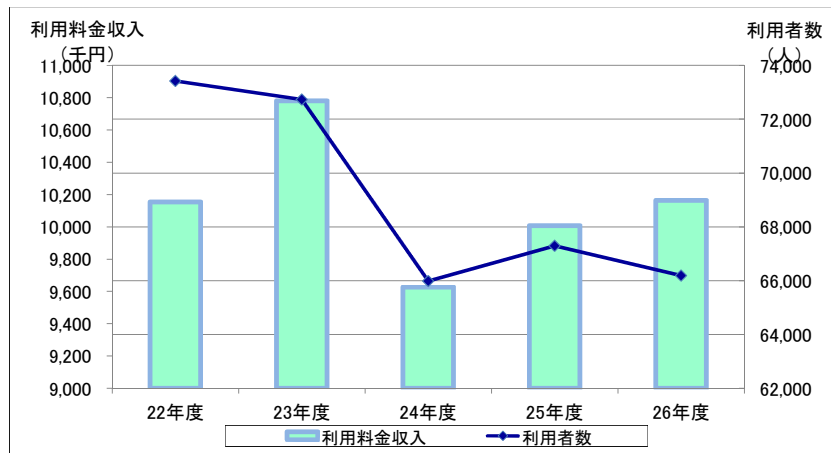
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
県委託料(千円)	60,084	62,184	60,084	60,084	61,541	61,541

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	対前年度増減率
利用者数(人)	73,414	72,733	65,982	67,295	66,186	△ 1.6 %
利用料金収入(千円)	10,154	10,780	9,626	10,008	10,164	1.6 %



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

(利用料金収入)

—

—

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み)

平成26年度の内容	平成27年度の内容(予定含む)
<p>○「えひめ男女参画フェスティバル2014」の開催</p> <p>○世代のニーズをプログラム化した講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボレボレ共同参画セミナー</li> <li>・子育てママのハピ&amp;らくセミナー</li> <li>・花咲くなでしこ応援塾</li> <li>・アドバンスセミナー</li> <li>・リーダー養成セミナー</li> <li>・プラチナ世代のチャレンジセミナー</li> </ul> <p>○施設利用促進の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修事業(エンパワメントカレッジ)とコラボレートしたブックフェアの実施</li> <li>・1階ロビーに丸テーブルと椅子を設置し、貸館利用者以外も気軽に施設を利用できるようにして雑誌数誌も備え付ける</li> <li>・図書情報資料室に新刊購入図書用のラックを設置し、図書PRの工夫や利便性の向上に努めた</li> </ul> <p>○施設環境改善のための修繕実施</p> <p>○松山市男女共同参画推進センターと連携した広報、共催事業の実施、図書情報の共有及び図書の相互返却</p> <p>☆講座等のタイトルや内容を利用者のニーズに合わせてリニューアルした。</p>	<p>○「えひめ男女参画フェスティバル2015」の開催</p> <p>○世代のニーズをプログラム化した講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボレボレ共同参画セミナー</li> <li>・子育てママのハピ&amp;らくセミナー</li> <li>・花咲くなでしこ応援塾</li> <li>・アドバンスセミナー</li> <li>・リーダー養成セミナー</li> <li>・プラチナ世代のチャレンジセミナー</li> </ul> <p>○施設利用促進の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修事業(エンパワメントカレッジ)とコラボレートしたブックフェアの実施</li> <li>・1階ロビーに丸テーブルと椅子を設置し、貸館利用者以外も気軽に施設を利用できるようにして雑誌数誌も備え付ける</li> <li>・図書情報資料室に新刊購入図書用のラックを常設し、図書PRの工夫や利便性の向上に努める</li> </ul> <p>○施設環境改善のための修繕実施</p> <p>○松山市男女共同参画推進センターと連携した広報、共催事業の実施、図書情報の共有及び図書の相互返却</p>

### イ) 利用者からの声への26年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>○3階作業室は隣のレクリエーション室との壁が薄く音楽などの音漏れがするため、隣室の利用形態によっては会議の音が聞き取りにくい事があるため、改善してほしい。</p> <p>○エンパワメントカレッジリーダー養成セミナーに参加した。人生や仕事に対して前向きな方々と学ぶことが出来て刺激になった。毎回、考え抜かれた講義の内容で、たくさんの本を読むより勉強になり自分自身変わったと思う。今後女性が活躍する場が増え、女性リーダーを育てる中で私たちが出来ること、することを全般を通して学ぶことが出来た。</p> <p>○エンパワメントカレッジ公開講座に参加した。講師の凛とした生き方に胸がすく思いです。覚悟を持って自分で決める、人のせいにならないその結果に自分で責任を持つ強さしなやかさを持ってこれから生きたいと思った。</p>	<p>○3階作業室とレクリエーション室との壁の間に防音修繕を行った結果、大幅に改善が見られた。</p>

## 7. 26年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>県内の男女共同参画推進拠点施設の指定管理者として、各種研修事業、相談事業、施設貸館利用促進等に積極的に取り組んだ。</p> <p>研修業務では前年に引き続き、エンパワメントカレッジにおいて受講登録していない者も受講できるオープンカレッジ方式を採用、また新規講座で新しい受講者層の獲得等を行うなど、事業やセンターのPRを図っている。今後も、各自治体や機関などと連携を図り啓発を進めるとともに、質の高い事業を提供していきたい。</p> <p>相談業務は、依然として複雑化の傾向にある。必要に応じた関係機関との連携、相談者に寄り添った具体的方策の提示等、相談員の男女共同参画の視点や相談に関する知識や技術が強く求められるため、研修参加や内部での事例検討等を通して資質向上に努めていきたい。</p> <p>施設管理面では、26年度は利用者の安全を重視しながら地震により故障した多目的ホールの可動椅子を修繕するなど突発的事項にも対応した。さらに経年劣化による必要箇所の改修・修繕など快適な環境整備、環境美化を行うとともに利用者への安心・安全な環境づくり、節電にも努めることで、安定した施設利用収入の確保につなげていきたい。</p>	<p>働く女性を対象とした講座を土曜に新規開講する等、受講者が参加しやすいよう工夫をしている点は高く評価している。</p> <p>また、利用者のニーズを把握し、利用目的に対応した修繕等を行うなど利用しやすい施設づくりに努めており、機動力のある運営姿勢が利用人数の増加につながっているものとする。</p> <p>利用料金収入の収益は施設の機能向上に還元されており、26年度は、老朽施設(ケーブル取替、トイレ等)の修繕・更新や施設的环境美化(ベンチ椅子レザー張替等)など、15件の修繕実施により、施設の維持管理面でも多大な成果を上げている。また、地震発生により罹災した多目的ホール可動椅子の修繕も速やかに行っている。このほか、県からの要請を受けてデマンド監視装置を設置し、使用電力の節減に協力するなど、県と協調して管理運営にあたる姿勢を高く評価している。今後とも、より積極的な利用促進を図るとともに、県民ニーズを捉えた施設サービスや事業実施により、男女共同参画社会の実現に向けた効果ある取組みをお願いしたい。</p>

## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>性別にかかわらず参加しやすい講座、研修テーマの設定、利用者のニーズに対応した迅速な施設修繕など利用者の視点に立った施設運営姿勢により、利用者数の維持に努め、女性の地位向上と男女共同参画社会づくりの推進につながっている。</p> <p>利用料金収入の収益は施設の機能向上に還元されており、引き続き、より積極的な利用促進を図るとともに、県民ニーズを捉えた施設サービスや事業実施により、男女共同参画社会の実現に向けた効果ある取組みをお願いしたい。</p>
---